

整形外科

---

リウマチ外来  
運動器疼痛外来

---

日本整形外科学会整形外科専門医 金澤 慶



慢性的な肩痛、腰痛、膝痛、股関節痛、で困っていませんか？

疼痛コントロール  
医師

運動器リハビリ  
理学療法士

精神面のサポート

当院では、医師と理学療法士が連携し疼痛のコントロール、身体機能の改善および精神面のサポートまで行います。



当院では疼痛の原因を最新のエコーを用いて判断し、リハビリや治療に活用します。

# 関節リウマチ

- **病態**
- 免疫系が自分自身の関節を攻撃することで起こります。
- 関節を攻撃すると、滑膜炎をおこし関節や軟骨を破壊してしまいます。
- 滑膜炎を起こすと、関節に疼痛と腫脹が出てきます。
- **治療の目的**
- 早期に寛解状態（リウマチの症状を落ち着かせること）に移行し関節破壊を防ぐことです。
- そのためには、①関節の痛みや腫れをとること（臨床的寛解）②関節破壊の進行を抑えること（構造的寛解）③生活の質を改善すること（機能的寛解）が大切です。

関節リウマチは早期発見と治療が重要です。当院では、定期的な健康チェックや情報提供を行い治療だけでなく予防にも力を入れていきます。また、再発しないようにその後のケアもしっかり行なっていきます。

# 治療

関節破壊を抑制すること、疼痛をコントロールすることが重要です。

## 関節破壊抑制のための治療

- 免疫調整薬
- 免疫抑制薬
- 生物学的製剤

## 疼痛をコントロールするための治療

- 鎮痛剤
- ステロイド
- リハビリ
- 血管内動注療法

当院では患者様の個性やニーズに合わせたオーダーメイドの治療計画を立て 患者様が健康的な生活を送るためのサポートを全力で取り組みます。



当院では、疼痛をコントロールする治療に力を入れています。

一般的には疼痛をコントロールするために、鎮痛剤、ステロイドを処方されますが

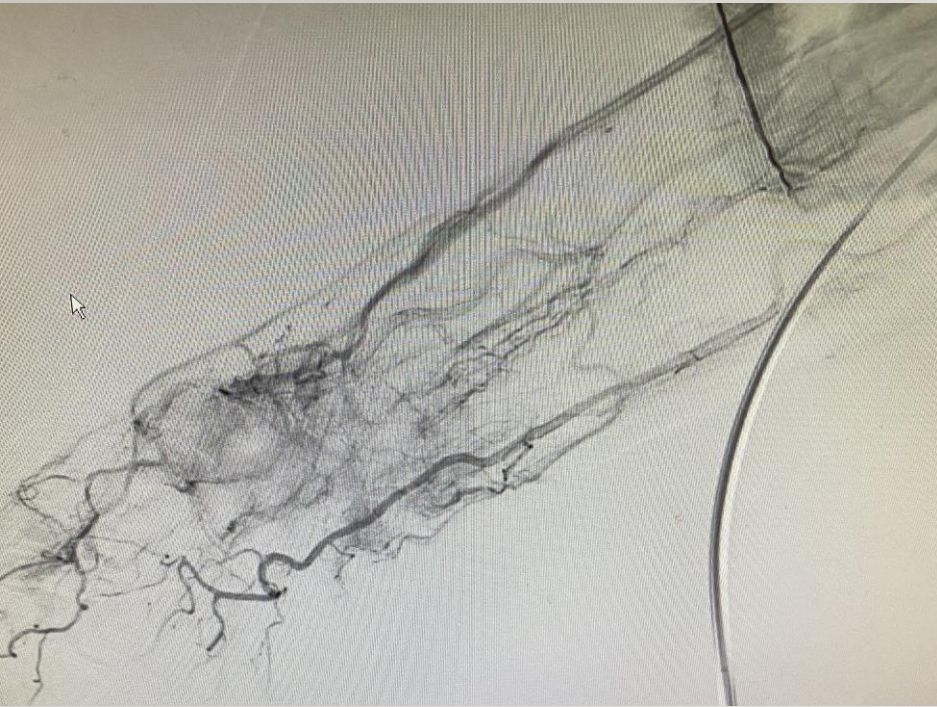
疼痛のコントロールに難渋する機会をよく経験します。結果的に鎮痛剤の量が増えたり長期間の内服のため副作用を併発したりする可能性があります。

当院では、難治性関節リウマチの関節滑膜炎に対して、血管内動注療法を施行しています。疼痛を軽減させ、生活の質を改善し鎮痛剤の量を減らすことが可能となります。その結果、滑膜炎を消失させることで関節破壊を抑制させる可能性があります。

関節リウマチの関節痛で悩んでいる患者様、是非ご相談ください。



# 実際の治療例手関節滑膜炎



治療前



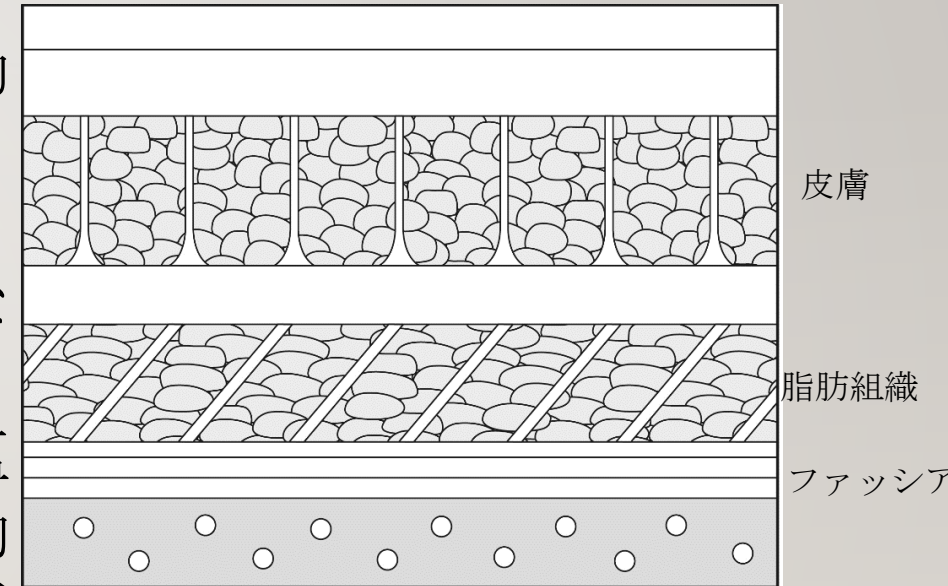
治療後

10年以上、リウマチに伴う右手関節滑膜炎で悩まされていた患者様です。  
治療後、1週間で疼痛はほぼ消失し、現在、鎮痛剤の内服終了が可能となりました。

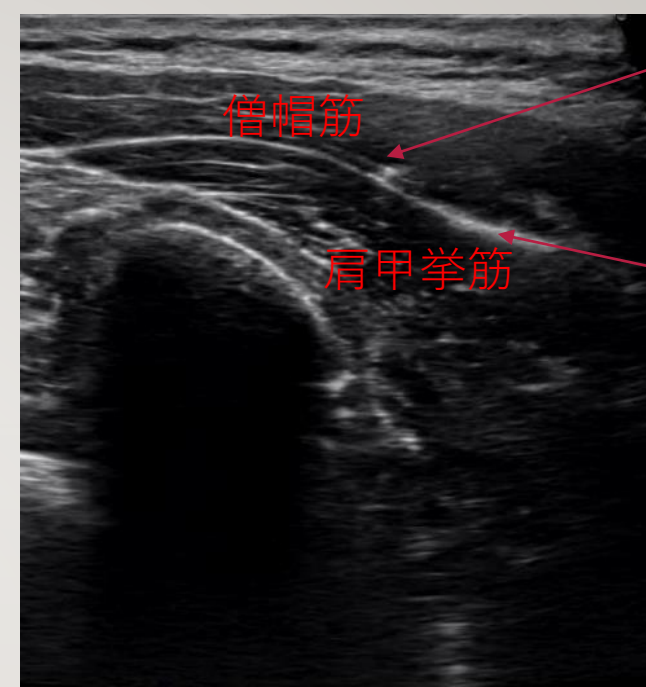
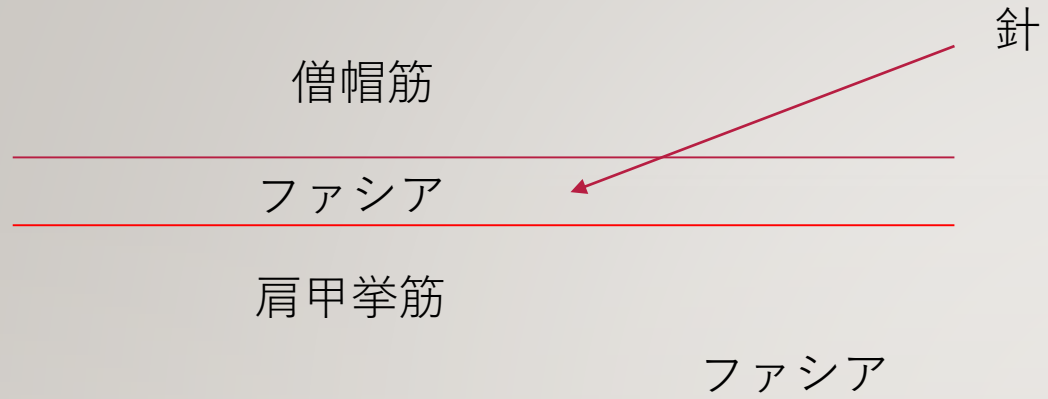


# ハイドロリリース

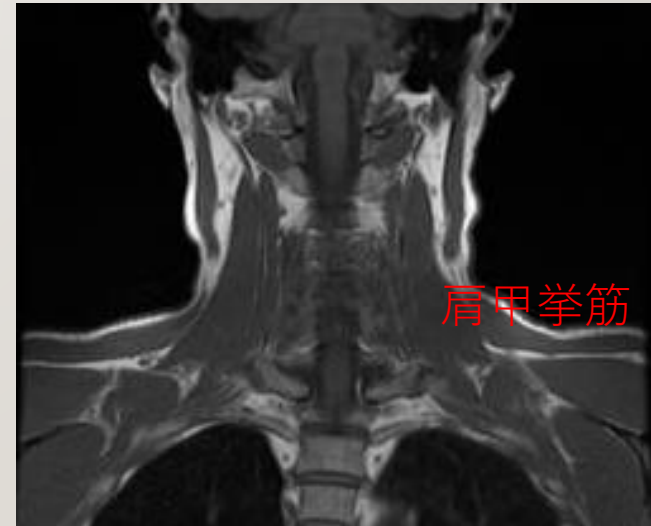
ファッシアは、臓器と臓器の間にあるゆるゆる組織（疎性結合組織）で、従来は不要なものとしてあまり研究の対象になっていませんでした。近年の概念の変化によって、ファッシアには重要な役割があり、不良姿勢や運動不足、閉経後などによって少しずつ硬くなってくるのが原因で、関節や神経の痛みや、体を動かすことの不自由の原因となってしまいます。病気からくる病気ではない痛みなので痛み止めが良く効きません。ハイドロリリースは、エコーで確認しながらファッシアに生理食塩水を注入することで、筋肉や神経の滑走性を良くする働きがあります。しかし、ハイドロリリースによって改善した痛みは、リハビリをしないとすぐにまたもとに戻ってしまうので注意が必要です。リリースと運動を繰り返しながら、段階的に良くなっていきます。



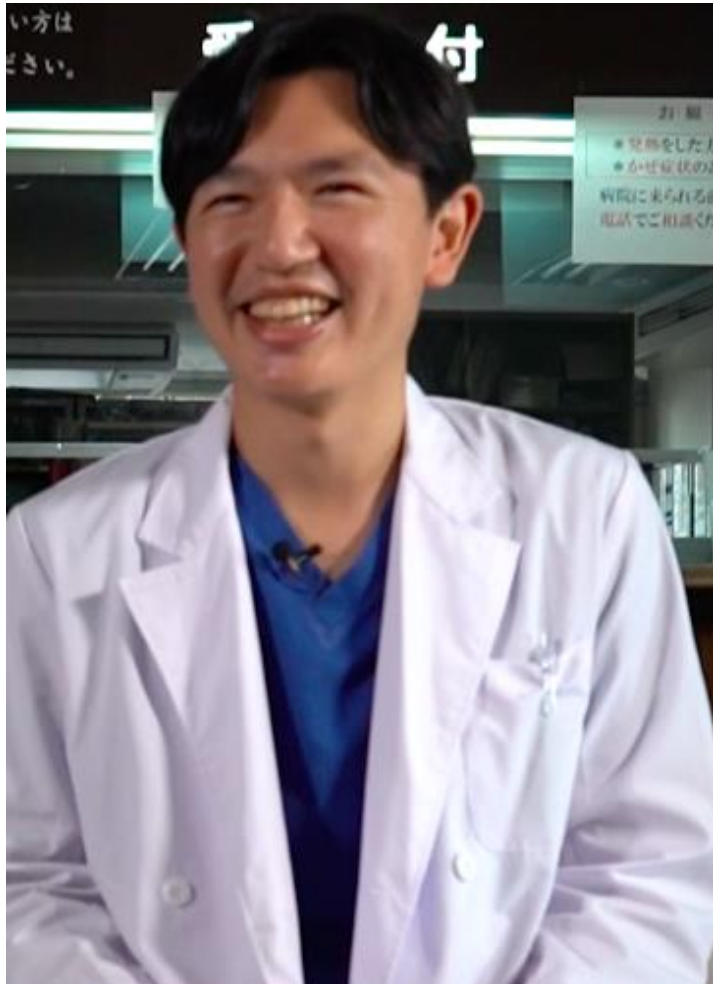
# ハイドロリリース (肩こりリリースの実際)



針  
僧帽筋  
肩甲挙筋  
ファシア



肩甲挙筋



- 
- 慢性の疼痛や関節リウマチについて困っていること、不安に思っていることは遠慮なくご相談ください。患者様にとって一番良い治療を患者様に寄り添って一緒に考えていきたいと思っています。

金澤 慶

日本整形外科学会整形外科専門医

日本整形外科学会認定リウマチ医

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

日本内科学会認定内科医